

(1) 特別課題研究

れんがの加飾技術の開発 (1/2)		NO. 6
れんがのエージング処理技術の開発 (1/1)		
研究機関/担当者	三河窯業試験場	深澤 正芳、清水 彰子、今井 敏博
研究の概要	研究の内容	補修部分が目立たず、建物全体と調和するれんがの加飾技術についての研究開発を行う。れんがに薬液処理をすることで、経年変化した外観を出すことを試みる。具体的には、薬液が比較的安価である酸やアルカリ溶液などに新品のれんがを浸漬させて、表面をエージング処理する技術を開発する。
	研究の目標	薬液浸漬により、新品同様の強度を維持したまま、表面が経年変化した外観のれんがを作製する。また、実際の古れんがと試作品の表面状態について、測色計などによる定量的な比較を行い、エージング処理技術の確立を目指す。
	備考	なし